



吾平の伝統に 親しむ芸能祭



8月3日、鵜戸神社(吾平町麓)で「第7回美里あいら伝統芸能祭」が開催されました。これは吾平の伝統文化に親んでもらうために、美里吾平コミュニティ協議会が主催するイベント。当日は「八月踊り」や「そば切り踊り」のほか、巫女舞と劇団ニライスタジオによる演舞が披露され、地元の園児たちによる「よさこい」では、子どもたちの一生懸命な姿を見る人の歓声が挙がっていました。

身近な出来事から 平和を考える



7月30日、リナシティかのやで「かのや未来創造プログラム-平和の花束2024-」が開催されました。これは、平和や人権について考える目的で市教育委員会が毎年実施しているもので、児童生徒が考えた「平和へのメッセージ」が7,651点集まりました。当日は約350人が来場し、朗読や授賞式のほか絵本作家の浜田桂子氏による講演が行われ、参加者は改めて平和の大切さを学びました。

SVリーグ選手 試合と交流を実施



8月4・5日、串良平和アリーナで「かごしま国体開催記念バレーボールフレンドリーマッチin鹿屋」が開催され、SAGA久光スプリングスとデンソーエアリービーズを招待して鹿屋体育大学女子バレーボール部との交流試合が行われました。2日間にわたって、市内中学校の女子バレーボール部や少年団へのクリニックも実施。子どもたちはプロ選手との試合と交流を通じて、刺激を受けていました。

高須町の伝統行事 刀舞



8月4日、高須町で祇園祭が行われ、五穀豊穡や無病息災を願う「刀舞」が波之上神社に奉納されました。刀舞は長刀・刀・弓・田の神・鬼神の5つの舞の総称で、市の無形民俗文化財にも指定されており、奉納後は町内を舞いながら巡行。鬼神や田の神の面を被った舞い手を見て泣き叫ぶ子どもたちの姿に、見物客は子どもたちの成長を願い温かく見守っていました。

チーム力を発揮して 全国大会3連覇



8月2日、岩手県で行われた「第45回全日本クラブ女子ソフトボール選手権」で優勝したMORI ALL WAVE KANOYAの選手らが市役所を訪れました。池田一未監督は「優勝は、鹿屋の皆さんの声援のおかげ」と話しました。

災害発生時に相談を 支援する協定を締結



8月1日、「災害発生時における行政書士による支援活動に関する協定調印式」が実施されました。これは鹿児島県行政書士会が、大規模災害等発生時に社会貢献のために相談業務等の支援を原則無償で実施する協定です。

ドッジボールで 九州大会出場



7月29日、「BLAZE KANOYA」の選手が市役所を訪れました。これは「第33回夏の全国小学生ドッジボール選手権鹿児島県大会」で3位に入賞し、「松和物産杯第11回九州ブロック親善ドッジボール大会」に出場することを報告したものです。